

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	社会福祉法人 恵愛福祉会 児童デイサービスめぶき			
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数)	4施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人に保育園や学童があり、保護者様との連携は図れている。	定期的に面談や関係機関と連携しながら、情報共有することができた。	イベント等で保護者様同士で関わる機会を考えて企画をしていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の経験が少なく、訪問先へのアドバイスできる手 段や助言の幅を広げる取り組みが必要。	兼務しながらの訪問支援を行っており、効率的に職員への研 修機会や勉強会など、スキルアップする取り組みが少ない。	事業所内、また外部からの研修機会を設けて職員のスキル アップに繋げる。
2	保護者様の活動に参加する機会や保護者同士が関わりを持つ 取り組みが少ない。	個々に活動記録などで日々の報告や児童の状況報告はできて いるが、保護者様向けのイベントを推進できていない。	保護者様や訪問先の職員にも参加できるイベントや活動も企 画し、情報共有を行う事で連携を図る。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 恵愛福祉会 児童デイサービスめぶき

公表日 令和7年 4月 1日

利用児童数 令和7年 4月 1日

回収数 : 対象人数10人 回答数5人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	1				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	1				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	1				
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4	1				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	2				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1				
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	1				
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	2	2		家族が参加できるプログラムや研修会が特になかった。	ご意見ありがとうございます。今後、ご家族が参加できる研修会及び活動を検討していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	3	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1				
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	3				
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1				
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	2				
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	3					

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	1				
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	2				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	2				
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5					
	28	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 4月 1日

社会福祉法人 恵愛福祉会 児童デイサービスめぶき

利用児童数

令和7年 4月 1日

回収数：対象施設5 回答数4

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			・会議等での事業所との情報交換の際に訪問支援時の状況報告やアドバイスを細かく報告されていた。事業所での療育の様子も教えていただき園と違う様子を知ることができた。 ・個々に対するアドバイスが、わかりやすく園生活の中で実践に結びついたものがある。(コミュニケーションや子どもの世界観に共感するなど)	ご意見ありがとうございます。今後も訪問支援員を中心に情報共有を図り連携を行います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	2		同じ保育士という視点からの考察が多く、他の専門性を生かしたアドバイスが欲しかった。	ご意見ありがとうございます。職種や違う視点から知識や技術の向上を含めて訪問支援に取り入れていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	1		訪問支援の振り返り、気付きシートが作成されて丁寧に報告されていた。保育現場で話し合いをする時間が持てない場合があるので報告書を利用して情報交換が密にされていたと感じた。 ・質問に対しての回答が集団の中では、難しい事が多いように感じるがあった。	ご意見ありがとうございます。情報交換は今後も継続し時間を効率的に使用しながら行っていきます。また、集団でのアドバイス等は様々な手段をご提案できるよう状況に応じてご対応いたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		親身になり一緒に考え、アドバイスをしてくださっていたことは感謝しています。	ご意見ありがとうございます。今後も継続しサポートできるよう継続させていただきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	2		利用児童の個別支援計画や療育の情報交換を行うことで保育の中で療育的な取り組みを行い生活の中での支援につながられた。	ご意見ありがとうございます。訪問支援を行う事での支援が行いやすくなるように今後も継続しサポートいたします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・いつもありがとうございます。一緒に成長を分かち合えてうれしいです。今後とも無理なく成長を見守れたらと思います。宜しくお願い致します。</p> <p>・訪問支援に来られる時間や行事の取り組みで(運動会・お遊戯会)利用園児の支援が不要な時もあった。集団でできるであろうことも訪問支援が入ることで意欲がなくなることがあった。しかし時間の変更や園の要望に速やかに事業所が対応していただき適切な訪問支援となった。対象園児以外の子どもたちとの関りもしていただき、良好な有意義な時間を過ご過ごすことができました。今後も臨機応変な対応と専門性のある知識を生かした訪問支援へとつなげてほしいと感じています。</p> <p>・園児側の都合もあると思うが、個々の育ちや発達に応じて回数を増やすなどの対応を今後希望します。</p> <p>・子どもの実態を踏まえて、直接支援を多く取り入れて頂き、大変ありがたく感謝申し上げます。学校での自立活動は限られていますので学校、家庭、放デイで繰り返していくと少しずつ身につくかと思えます。放デイでのどのようなことを取り組んでいらっしゃるか一度見せて頂きたいと思えます。</p>					<p>・様々なご意見を頂きましてありがとうございます。訪問先の皆さまのお受け入れまたご対応を頂き誠にありがとうございます。児童に対しての困り事や課題など関係機関と連携を図りながら、集団生活の適応やアドバイスを行ってまいります。円滑にサービス提供ができるように、自事業所でもスキルアップを行えるよう今後も密に連携しながら活かしていきたいと思えます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 恵愛福祉会 児童デイサービスめぶき			公表日	令和7年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		訪問支援を希望されるケースが増えており、職員配置の現状は今後、検討を行っていきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		意識を高めるために、PDCAの活用や業務改善に向けた取り組みを強化しながら職員への指導を行っていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		職員の勤務形態や勤務時間を考慮しながら意見交換や情報共有できる仕組み作りを行います。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	8			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	8			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	8			訪問支援シートを活用し記録の管理を行った。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	3	定期的に職員、訪問先や保護者の意向やモニタリングにて意見交換や情報共有ができるよう訪問支援シートを使いながら取り組んだ。	ケースとして大きく見直しが必要な計画は特になく継続する内容が多かった。また意見交換にて訪問先や保護者様との連携が時間の都合で調整が難しい事もあるので、改善を行っていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		8		現状の活動時間などもあり、参加ができていない。できる限り参加ができるよう仕組みを作りながら情報共有を図っていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	療育システムの記録や報告書を活用して共通理解を図ることができた。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会などはできなかった。今後、検討しご家族に対しての取り組みを計画し、推進していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	8			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		父母の会、また保護者会等の開催がなく保護者同士また兄弟同士のイベント企画も設けてなかったため、今後は検討し企画を行っていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	8			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	8			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	8			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	8			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			